

メディア掲載・講演等

- 2023.5.15 兵庫少年友の会総会で「子ども（少年）の気持ちに寄り添う難しさとやりがい～子どもシェルター・自立援助ホームの取組から～」をテーマに講演
- 2023.5.29 吹田市の市民セミナー「＜子どもの貧困＞はこども基本法でどう変わる？ー地域のサポートについて考える」で講演
- 2023.6.17 第22回児童虐待防止協会総会記念フォーラムで「子どもシェルターを知っていますか・高齢児虐待と自立支援・」をテーマに講演
- 2023.6.21 令和5年度大阪府立学校養護教諭研究会総会で「10代の子どもたちと虐待～子どもセンターぬっくの取組と学校との連携～」をテーマに講演
- 2023.7.21 関西テレビ「LIVEコネクト!」の電話取材に対応
- 2023.11.25 全日本教職員組合 定時制通信制部 近畿ブロック交流集会において講演
- 2023.11.30 大阪府立住吉高等学校「総合的な探求の時間（SUKIPRO）」フィールドワークで1年生4名と面談し、子どもの貧困等への支援などについて説明
- 2023.12.6 大阪府人権教育セミナーにおいて「子どもの人権」をテーマに講演
- 2023.12.9 公益財団法人大阪YMCA開催の「2023年度子どもの声を聴くための基礎講座」において「子どもの声を聞くために必要な関わり・支援とは」をテーマに講演
- 2024.1.28 大阪男女いきいき財団30周年記念事業「大阪・関西 女性の未来創造会議～大阪男女いきいき財団30周年感謝祭～」に登壇、「困難な状況にある女性への支援」をテーマに就労体験事業についてエピソードトーク
- 2024.1.30 高知弁護士会子どもの権利委員会委員の弁護士を対象とした、子ども担当弁護士についての研修で講義
- 2024.2.8 大阪府立和泉総合高校教職員人権研修において、ぬっくの活動について講演
- 2024.2.25 令和5年度大阪府依存症早期介入・回復継続支援事業 いちごの会主催・市民講演会で「生きづらさを抱える子どもたち」をテーマに講演、シンポジウムに登壇

理事一覧

理事長

玉野 まりこ
(弁護士)

副理事長

廣瀬 みどり
(関西学院大学 人間福祉学部社会福祉学科 非常勤講師)

理事

相間 佐基子 (弁護士) 乾 隆雄 (元児童養護施設 施設長)
丹羽 有紀 (弁護士) 大森 順子
(シングルマザーのつながるネット まえむき IPPO 代表)
松下 美穂 (弁護士) 松田 陽子
森本 志磨子 (弁護士) (俳優、シンガーソングライター、NPO法人self理事長)



NPO法人
子どもセンター **ぬっく**

〒530-0047

大阪市北区西天満4丁目1番4号
第三大阪弁護士ビル503号
葛城・森本法律事務所内

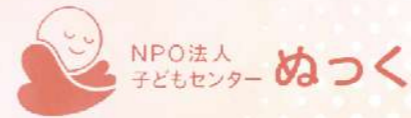
☎ 06-6355-4648

✉ kodomo@nukku.info

冊子デザイン：nono



ぬっく HP



ぬっく活動報告書

2023



NPO法人 子どもセンターぬっくとは

虐待や貧困、非行等により家に居場所をなくし、心身ともに傷ついているのに制度のはざまに落ち込み、支援が届きにくくなっている
10代後半くらいの子どもたちを支援する団体です。
そんな子どもたちに、安心して心身を癒せる生活の場を提供し、自分らしく生きる権利を保障するため、子どもセンターぬっくを設立しました。



私たちが大切にしていること

一人にしない 支援

生きづらさを抱えた子どもたちの揺れやつまずきに寄り添い、そのままを受け止め、「一人にしない支援」を粘り強く続けていきます。



自己責任で 終わらせない

たとえ、生きづらさの原因が、本人の特性や課題によるものであっても、「自己責任」では終わらせません。本人の持っている力を信じて、寄り添います。スタッフ・コタン(子ども担当弁護士)関係機関等と連携して取り組みます。

子どもたちと "社会"をつなぐ

私たちは、生きづらさを抱えた子どもたちを、ぬっくだけで抱え込まず、次の人へ、社会へと“橋渡し”をしていきます。一人ひとりが社会とつながっていて“何かができる自分である”と、互いに実感できる社会をめざします。

子どもシェルター ぬっくハウス

虐待・貧困・非行等で安心して帰れる家がなく、今日眠るところのない子どもの緊急避難場所(一軒家・家庭的な雰囲気)です。



- 対象は、おおむね義務教育を終えた15歳～19歳くらいの女子(定員6名)です。
- スタッフやボランティアが常駐しており、一人ひとりに無償でコタンが就きます。
- 一人ひとりに、安心できる個室があります。
- 安全のため、スマホなどの通信機器は使うことはできません。また、外出時は大人が付き添います。
- まずは傷ついた心と身体を休めてもらい、一緒に次の居場所を探していきます。

2023年度もご支援・ご協力ありがとうございました



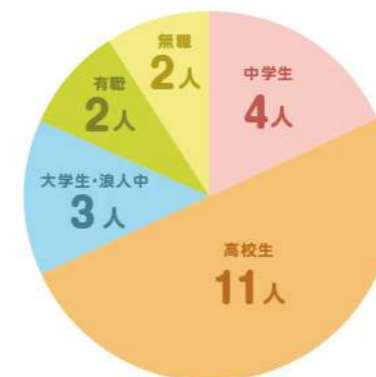
弁護士/NPO法人子どもセンターぬっく理事長
玉野 まりこ

本年度の重要課題であった男子専用の自立援助ホームですが、2023年12月、地域の皆様のご協力を得て無事開設ができ、「自立援助ホーム Ma-Co」として運営を始めました。高校生年齢の子どもたちが元気に生活しています。「自立援助ホーム Re-Co」の子どもたちは頑張り屋さんが多く、毎日学校やアルバイトに忙しそうです。「子どもシェルター ぬっくハウス」は20歳に達した若年者の入居が複数ある1年でした。さて、ぬっくは、2024年9月に法人設立10年目を迎えます。当時15歳～19歳だった子

理事長挨拶

どもたちも、今は20代後半となりました。「子どもシェルター ぬっくハウス」を退居した後、進学や就職をしたけれど困窮に陥ってしまった子、家族との関係が悪化して再び居場所を失った子、ひとりで出産をした子、アルコールや薬を過剰摂取してやめられない子…決して平坦な道ではなかった方も少なくありませんが、それでもみんな自分の人生を一生懸命に生きています。入居中の生活支援はもちろんのこと、退居に向けての自立支援やアフターケアにもより一層力を入れ、次の10年を考える1年にしたいと思います。

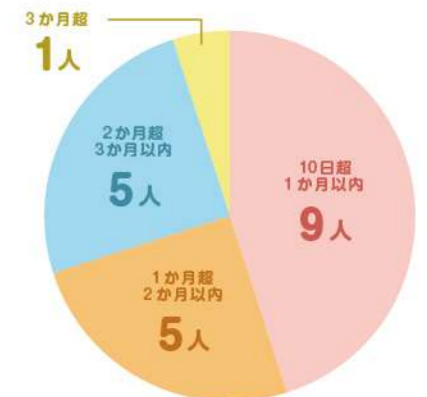
2023年度のぬっくハウス



入居した人数
のべ 22人



退居した人数
のべ 21人



入居日数
平均 45日

自立援助ホーム

りこ まこ
Re-Co / Ma-Co



何らかの理由で家庭にいられなくなった子どもたちが、仕事や学校に通いながら、自立に向けて生活する場所です。

- Re-Coは女子専用、Ma-Coは男子専用で、それぞれ15歳から20歳くらいの子どもたちを受け入れています。定員はそれぞれ6名です。
- 一人ひとりに、安心できる個室があります。
- スタッフが常駐しており、一人ひとりに無償でコタンが就きます。
- 子どもが持っている力を発揮して、自分の意志で自分の人生を選び取り、社会への一歩を踏み出せるよう、児童相談所のケースワーカーなど関係機関の協力も受けながら、自立への準備をします。

ミーティング・子ども会議 (Re-Co, Ma-Co)

コタン、スタッフ、児童相談所のケースワーカーと一緒に、生活の振り返りを行い、今後の目標、過ごし方について話し合う「ミーティング」、集団生活をしていく中でお互いに気になっていることを、子どもたち中心で話し合う「子ども会議」を、それぞれ月1回程度ずつ実施しています。



2023年度の Re-Co

入居した人数

6人

退居した人数

5人

入居日数

平均 248日

内訳

4か月以内1人 1年1か月以内1人
6か月以内1人 1年2か月以内1人
7か月以内1人

最短入居期間

98日

最長入居期間

402日

2023年度の Ma-Co

12月1日に、Ma-Coを開設しました。

これまで、居場所のない男子に関する相談が入った場合、他団体に繋ぐ等により対応してきましたが、男子の自立援助ホームのニーズも高いことを感じ、「めっくでも男子の居場所を持ちたい」という思いを抱いてきました。ホーム名「Ma-Co」には、自分の人生を切り拓きながら「Make(作る・創造する)」、大人になっていくのを「Mature(成熟した、十分に成長した)」、一緒に支えていきたい「Cooperation(協力、協働、援助)」という思いがこめられています。

入居した人数

5人

退居した人数

1人

※開設から3月末まで



イベント (Re-Co)

2023年度 Re-Coでは、皆でクレープを手作りして食べたり、焼き肉食べ放題や韓国料理店に行ったり、月1回程度イベントを実施しました。

Re-Co



Ma-Co



アフターケア (Re-Co)

アフターケアにも力を入れています。2022年2月より自立支援担当職員を配置し、スタッフとともに、退居前の諸準備から退居後にわたり、子どもの希望を尊重しながら継続的な支援を行っています。
→2023年度の実施件数は7ページに記載。



Re-Co別室について

一人暮らしの練習のため、Re-Coを退居するまでの一定期間、めっくが借りている部屋(1DK)で生活することがあります。
2023年度は、2人がそれぞれ2か月余り生活をしました。コタンやスタッフとの定期的な面談等を重ねながら、一人暮らしの準備をして無事に退居、一人暮らしを始めることができました。



ぬっくハウスはどのような場所でしたか

家では、自分の感情を話せない、自由時間がなくて好きなことができないという状態だったので、ぬっくハウスに入ったときはとまどいました。自分の時間がいっぱいあるし、好きなことしたらいいよ、と言われて、自分は何が好きなのか、何に興味があるのだろうかと思いました。

でも、ぬっくハウスで公園に行ったり手芸ができたりスタッフさんと話をしたりして、これが好きに動いてくことなやと思いました。音楽もいっぱい置いてあって、そういうのは家で聴けなかったから、こういう音楽が自分は好きなんだと分かりました。ここで聴き始めたアーティストで今でも好きな人がいます。好きなことを人から押し付けられずに見つけられる場所でした。

公園でキャッチボールしたり、お菓子を作ったりするのも楽しかった。自分で選んだ楽しさでした。

Re-Coはどんな場所でしたか

ぬっくハウスを出て、他の施設にも行って、自分の気持ちを出すことができるようにはなっただけで、出し方がうまくいかず、それをスタッフさんにぶつけたりしていました。Re-Coのスタッフさんは向き合ってくれて、最後まで見捨てることはありませんでした。それはとてもありがたかったと思います。自分にここまで真剣に向き合ってくれる人がいるんだな、と思いました。Re-Coにいた期間は、自分を見つけるのに悩んでいた時期だったと思います。

Re-Coの生活で印象に残っているのは、私がスタッフさんと一緒にご飯を作って、他の子に食べてもらったときのことです。ヤンニョムチキンを作ったら、みんなおかわりしてくれて、人に食べてもらうのは楽しいんだと感じました。

スタッフはどんな存在でしたか

自分の気持ちの出し方を間違ったりしたことあったけど、スタッフさんは、ダメなことはダメと言って、でも、それを引きずることなく、あとは笑って普通に接してくれました。家では、怒られるとそれをずっと言われていたので、スタッフさんは、1回の失敗で見捨てないんだと思い、安心しました。

また、友人が亡くなったので泣き出してしまったことがありましたが、スタッフさんが、スタッフルームで落ち着くまで話を聞いてくれました。しんどいときにそばにいてくれる人がいるってこんなに安心なんだと思いました。

コタンはどんな存在でしたか

コタンとはもう7年の付き合いになります。最初は、自分をまるめこむ大人ではないかと思って信用できなかったけど、ぬっくハウスに入れるようにしてくれて、助けてくれる人っているんだ、この人は守ってくれる人なんだと思いました。そして、いろんな話をしてくれて、親とも話をしてくれたりして、私を一個人として見てくれている人っているんだと思いました。いろいろ反抗をした時期もあったけど、向き合ってくれて見捨てずにいてくれて、普通、お母さんがしてくれることってこういうことなのかなと思いました。

ぬっくハウスや Re-Coについて、もっとこんなふうだったらよかったですと思う点がありますか

当時は、ルールがちょっと窮屈だったけど、今、大人になって振り返ってみると、施設として運営する上ではルールも必要だと思うし、社会のルールの練習になるし、ルールがないことのほうが不自由なんだなと思えます。

今の生活はどうか

今は、一人暮らしをしています。生きづらさはまだあるけど、死にたいとかそういうふうには思わなくなりました。今日つらくても明日はいいことがあるかもしれない、この人とまた楽しいことができるんじゃないかと、楽観的に考えられるようになったと思います。

これから利用する人へのメッセージ

もし、やりたいことがあるならまわりの大人に少しでも相談してみてください。若い時ほど自分だけでできることって少ないので、まわりの状況とかを見て、人に相談してやりたいことに近づけたらいいね。



Re-Coで働いていて大切にしていること

Re-Coに行くとき毎日子どもたちとたくさんおしゃべりをするのですが、私はその時間が大好きです。日常の出来事や趣味についてなどの楽しい話ばかりの日もあれば、モヤモヤや苛々、悲しいなどの感情をどう伝えていいのかわからず、不満として気持ちを表現することもある。

そんな時は、まず子どもの話を一通り聞いてから、「あなたはどうしたいの?」と問いかけ、対話をするように心がけています。

初めは上手く言葉にできなったり、「どうせ言っても…」と投げやりな反応が返ってきたりすることも多いですが、やりとりを積み重ねていくうちに少しずつ言葉にできる子がほとんどです。

こんなことがあったなという思い出してもらえたらいいなと思いつつ、子ども一人ひとりと日々のやりとりを、丁寧に大切にしていきたいです。

Re-Co スタッフ I

安心できる環境作りを

私は未経験でぬっくハウスのスタッフとして働き始めたので、ぬっくハウスに入居する年代の子どもたちと関わることは少なく、どう接するか悩む日々でした。子どもから相談を受けても、ただ聞くことしかできず無力さを感じたこともあります。しかし、様々な事情を抱えた子どもたちが、悩みながらも自身の置かれた状況と向き合い、ぬっくハウスでの制限がある生活の中でも日々元気に過ごしている姿をみると、まず自分に出来ることは、ぬっくハウスに入居している間は子どもが不安を感じることなく生活を送れるように尽力することだと思いました。ときに、子どもたち同士でトラブルが起こったり、スタッフの対応に不満を漏らしたり、また退居後どういった生活を送るのか、思うように話が先へ進まないことへの葛藤や不安を感じている場面に遭遇することもあります。そういったときでも、何とか問題を解決しようと一杯日々を過ごしている子どもたちが、これからも安心して穏やかに過ごせる環境作りをしていけたらと思っています。

ぬっくハウス スタッフ T

子どもらしく過ごせる時間を守っていけるように

Ma-Coでは過酷な環境で過ごしてきた子どもたちが生活しています。その為日々問題に直面することも多く、気持ちが乱されることも少なくありません。穏やかに話ができる時もあれば、イライラをぶつけられることもあり、心情はその都度移り変わります。

そんな中でも一番ホッとできる時間は夕食の時間です。スタッフと子どもたちが唯一、一緒にご飯を食べる時間であり、その日の出来事や友達とのこと、アルバイトの話などゆったりと話ができる時間になっています。夕食時は穏やかな時

間が流れており、スタッフの作るご飯を「おいしい」と楽しみにしてくれている子どもたちの表情を見て嬉しくなります。また高校生の男の子が嫌な顔をせず配膳を手伝ってくれたり、その日食べるみんなが揃うまで手を合わせて「いただきます」をするのを待っている姿に可愛らしさを感じ、心温まる瞬間でもあります。

今まで安心して過ごせなかった子どもたちが少しでも子どもらしく過ごせる時間を守っていけるように、小さな気持ちの変化にも寄り添えるようなスタッフでありたいと思います。

Ma-Co スタッフ Y



その他の活動 子どもの諸問題に関する啓発及びネットワークづくり事業

居場所のない子ども110番 ～電話相談～

性別を問わず、10代・20代の若者を対象に、フリーダイヤルで受け付けています。
虐待等により、様々な生きづらさを抱えた子どもの悩みや相談を聴き、今後のことを一緒に考えます。
入居相談に限定せず、一人暮らしの支援、他団体との連携、継続相談などを行っています。

性別 女子95名、男子16名、不明9名
年齢 18歳未満49名、18歳・19歳46名、20歳以上16名、不明9名
相談者 本人48件、役所・相談機関等(児童相談所以外)22件、学校関係者18件、親族11件、友人知人9件
その他・病院、弁護士、他団体など
→うち3人がぬっくハウスに入居しました。
その他、協力家主の物件紹介も含めた一人暮らしの支援、他団体との連携、継続支援などを行いました。



2023年度の
相談件数

のべ**120**件

退居者等継続支援事業 ～アフターケア～

ぬっくハウスや Re-Coを退居した子どもたちへ、様々な支援を続けています。Ma-Coも順次行う予定です。
支援内容は多岐にわたり、退居後の生活環境の整備(賃貸借契約、公共料金等の手続、生活保護申請など)の支援、引越の

手伝い、役所・病院等への同行、奨学金の手続援助、子どもの不安や孤独感、寂しさなどを和らげ精神的な安定を図るための相談や見守り支援などを、子どもの希望を踏まえて行っています。

2023年度の支援件数

ぬっくハウス退居者

のべ**35**件

Re-Co 退居者

のべ**500**件

支援した子ども

18名

＼ LINEや電話での相談・やりとりが多くありました /

自立支援担当職員による活動件数	スタッフによる活動件数
253件(うち訪問・面談回数22回)	247件(うち面談回数25回)

お米や食料品などの
寄付物品を事務局から
送る活動も行っています

2023年度は、ハウス退居者にのべ19件、
Re-Co退居者にのべ20件発送しました。



シンポジウムの開催

2023年度ぬっくシンポジウムは、「自立援助ホームにおけるライフストーリーワークの実践とは」をテーマに、立命館大学准教授・日本財団研究員の徳永祥子さんをお迎えして3月に開催し、45名の方にご参加いただきました。



児童相談所との意見交換会・ケース会議の実施

8月に、大阪府、大阪市、堺市の各児童相談所と意見交換会を行いました。



スタッフ・ボランティア養成講座

オンデマンドによるスタッフ・ボランティア養成講座を実施しています。受講後、ボランティア登録を希望する方には、対面での面接を実施しています。

2023年度の受講者数

のべ**32**人



活動報告書及びニュースレターの発行及び配布、ホームページ・フェイスブックへの記事掲載等

ぬっく活動報告書2022を10月に、ニュースレターは12月に vol.15、3月に vol.16を、それぞれ発行しました。
ホームページや Facebook、PRTIMESにて、ぬっくの活動を配信しています。



ぬっく HP



ぬっく
Facebook

子どもたちの 就労体験

2022年5月から、大阪男女いきいき財団様のご協力により、就労体験を実施しています。
2023年度は4回実施し、入居中の子どもや退居した一人暮らし中の子ども、のべ11名が参加しました。
生理ナプキンを袋詰めして配布用書面を付ける作業を3時間程度行い、財団の方から、今後アルバイトや正社員として就業する際に気を付けることなどについてのお話もいただきました。



ご支援について

2023年度の寄付金額

18,780,597円



ご支援くださった会員、寄付者の皆様 (2024.3 末時点)

正会員

89人

賛助会員

62人

めっく応援会員(旧マンスリースポーター)

39人

物品寄付

42件

お米や野菜、レトルト食品、お菓子等の食品、食器、衣類、寝具などのご寄付をいただきました。また、施設で必要としている物品を、「欲しいものリスト」として、ホームページに不定期に掲載しています。2023年度は、タオル類やCD、クリスマスツリー、フェルト羊毛キット、IHコンロなどを送っていただきました。



子ども達が寄付のキットで作ったペンギンとシマエナガです。

ご支援くださった皆さまの声

企業寄付



大阪ホームサービス株式会社
代表取締役 穴見孔治 様

私たち大阪ホームサービスでは、新築戸建てや共同住宅の開発など、家造りを通して地域社会に貢献することで、全社員のモチベーションが向上し、仕事のやりがいを感じています。その中で地域発展の為に、将来を担う子供達の成長が大切だと考えています。

弊社では、青少年の育成とサッカー界の発展に少しでもお役に立つ事ができればと考え、大阪ホームサービス杯を

2015年より毎年開催させて頂いております。将来の日本を担う優秀な少年たちに、より良い試合環境を提供し、サッカー技術の向上と健全な心身の育成を図ることを目的とし、継続していく考えです。そんな中、傷つきや生きづらさを抱える子どもの居場所となるシェルターや自立援助ホームの運営、自立に向けた支援を続けるため活動をされている、子どもセンターめっくさんの活動をメディアを通じて知ることになり、ご連絡させて頂き、当時理事長だった森本弁護士との対談が実現。森本理事長の想いや考えに大変感動しましたので、ご協力応援したいと強く思い今日に至ります。微力ではありますが、未来永劫応援させて頂きたく思っております。

正会員寄付

齋藤直美 様

昔19才の頃、誰からも支援を受けずに暮らす女の子と知り合いました。不安定な状況を感じながらも深く考える事もなかった。あの頃めっくがあったら、絶対彼女に知らせた。

めっくの活動に賛同し微力ながら支援を続けます。支援を必要としている女の子達が、めっくの助けによって、自分の力で生きていける方法を見つける事を強く願っています。頑張れ～素敵な大人になってね。



ご支援くださった企業、団体の皆様 (順不同・敬称略)

 認定NPO法人 メッターフレンズ	フロンティア勉強会	公益財団法人 毎日新聞 大阪社会事業団	
日本キリスト教団 天満教会 (北区社協善意銀行)		赤い羽根共同募金 地域の子どもの 福祉のための助成	
吹田市社会福祉協議会 善意銀行	 認定NPO法人 おてら おやつ クラブ	愛すみれ ケアプランセンター	 Little Women Project 若草プロジェクト 一般社団法人 若草プロジェクト
浄土宗 蟠龍寺	 チャリティ・プロジェクト H2O YOUNG 誰もが笑顔のリンクになれる。	株式会社町屋くらぶ	 SORO FUTURE Investing in Dreams 国際ソロプチミスト 大阪・梅田
 浄土真宗本願寺派 萬福寺 最光寺	千里寺	公益財団法人 きずな育英基金	 子どもサポート 証券ネット 日本証券業協会 子どもサポート証券ネット
 大阪ホームサービス株式会社	 COSTCO WHOLESALE	豊生肥種株式会社	 LIONS CLUB 大阪西ライオンズクラブ
 てるうさ ファーム&キッチン	 BIRCH	 Reuse & Charityshop Rui+	株式会社数強塾
株式会社誠和			

ご寄付・助成金の使いみち

施設の運営には行政から措置費が支給されますが、経費すべてをまかなうことはできないため、その不足分や施設運営以外の諸事業(電話相談など)の費用に充てています。今年度はMa-Co開設にあたり、家電や家具などの必要物品の購入にも活用させていただきました。

令和5年度
会計報告書は
HPに掲載
しています▶

